

林政 隔週刊

林政 ニュース

RINSEI NEWS

隔週水曜日発行

平成6年6月9日第三種郵便物認可



森と木と人のつながりを考える
(株)日本林業調査会

発行所 〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28
飯田橋ハイタウン204

TEL (03)6457-8381 FAX (03)6457-8382

MAIL info@j-fic.com

取引銀行 三井住友銀行飯田橋支店(普) 810522

郵便振替 00160-8-98120

発行人 辻 潔

年間購読料22,000円(1部1,320円、消費税込み)(禁無断転載)

再生紙を使っています。

インターネット・ホームページ <http://www.j-fic.com/>

2024(令和6)年1月17日(水)

第716号

■ ニュース・フラッシュ

- ・来年度林野予算3,003億円、補正加え4,403億円
- ・「厳しい議論」の末、軽油引取税の免税3年延長
- 1.1 林野庁人事解説** 東北・四国森林管理局長が交代
- ・4年ぶり林業団体賀詞交換会、林野庁幹部は欠席
- ・大東建託のカナダ法人が事業開始、SPF材調達

■ 譲与税を追う——— 栃木県宇都宮市——— 県下最大「ジャズとカクテルのまち」が“基礎固め”

■ 遠藤日雄の新春対論

日本のエネルギーインフラを支える東京燃料林産・上

■ 地方のピックアップニュース

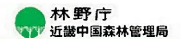
- ・千葉県柏市の英国名門スクールに“木の食堂棟”
 - ・サンライフが福島県産の大径原木を中国へ初輸出
 - ・能登ヒバギターとともに「森で愛ましよう」MV
 - ・大分県庁林業OB会と佐伯市が被災地調査で協定
- ときの人 神戸市副市長に黒田慶子・神戸大学教授

■ 寄稿

早生広葉樹ビジネス確立と外国人材受け入れ急げ!

3

令和6年能登半島地震に伴う森林被害調査(ヘリ調査)の結果【石川県】



10

12

16

21

1月1日(元旦)にマグニチュード7.6、最大震度7の「令和6年能登半島地震」が発生したことを受け、近畿中国森林管理局は翌2日に石川県の上空からヘリ調査を実施し、多数の山腹崩壊など甚大な被害が起きていることを確認した。(画像は近畿中国森林管理局のウェブサイトから、関連記事p3参照)

地方のトピックニュース

能登ヒバギターとともに「森で愛ましよう」のMV無料公開！

「2023ミス日本みどりの大使」の上村さや香さん（第694号参照）が作詞作曲した「森で愛ましよう」のMV（ミュージックビデオ）が昨年（2023年）12月25日に公開された。

「森で愛ましよう」は、上村さんが全国の林業現場などで見聞きした内容をベースに、昨年4月に林業応援ソングとして発表した。



「森で愛ましよう」のジャケットイメージ（画像提供：フルタルニランバー）

贈られた能登ヒバギターを片手に「森で愛ましよう」を全国25道県などで披露してきた（第711号参照）。「大使」の任期終了後も（株）セント・フォース（東京都渋谷区）の所属タレントとして林業・木材産業のイメージアップに向けたPR活動を続けることにしている。「森で愛ましよう」の音源とMVはイベントなどで無料で利用できる（使用申請が必要）。企画などを担当したフルタルニランバー（株）（石川県金沢市、第708号参照）の古谷隆明社長は、「業界活性化のために広く活用してほしい」と呼びかけている。

MVはこちら



◆大分県庁林業OB会と佐伯市が協定、被災地調査に無償協力

大分県庁を退職した林業技術者で組織している「県庁林業OB会」（足立紀彦会長）は、昨年（2023年）12月19日に佐伯市（田中利明市長）との間で「大規模な林道災害時の被災状況調査に関する協定」を締結した。

OB会は約150名の会員を擁し、毎年開催される県の森林づくり大会における作業協力をはじめ、2015年には歴史年表『大分県林業の歩み』を刊行し、藩政時代からの『大分県の林業史』の編纂にも取り組むなど精力的な活動を続けている。

佐伯市は九州最大の面積を有し、市内に路線数243本、総延長